

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	保育内容指導法(造形表現) [Teaching Method for Formative Expression of Early Childhood Care and Education]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750072	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	園田 博一			学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(1) DP3(1) DP3(2) DP3(5)		
授業概要	主に幼稚園教諭や保育士の養成を目的とした幼児教育の指導者として必要な「表現(造形)」に関する基礎的な理解を得るための講義(演習を含む)である。幼児の造形表現の為に必要な知識は、感性や感覚の練磨でもある自己の造形能力の習熟や幼児の理解、教育現場の情報理解と並行して学ぶ。作例を通して幼児や現場実践の情報を得、多様な視点、柔軟な対処もしていかななくてはならない。指導と援助に関わる上で特に具体的な援助とは何か、指導の範囲と援助の意味を特に深く考える内容で授業を構成する。						
関連する科目	教科教育法(図画工作)、図画工作演習、図画工作、幼児期及び児童期の発達に関連を理解する科目である。						
授業の進め方と方法	幼児期に必要な表現活動としての造形分野は、環境整備、造形素材、子どもの理解等や、他の教科と関連した学習である。はじめに幼児の視座に立った教育とは何か、幼児目線について知ることは感じ取ることである。幼児造形表現の理解、幼児教育の歴史や個々の発達段階、発達と様式、幼児画の特徴等、描画の内容について学習を進める。幼児造形教育の方法では指導の意味や保育指導案の実践事例研究で学ぶ。毎時間授業後半で感性、感覚を培う、大人の絵画研究として基本形の素描実技実習を行う。演習は保育現場での子どもへの対応と保護者の協力が得られるように、保育現場で対応する仮定の問答演習としての班別のグループ学習と、課題としてキーワード選択と短いセンテンスの発表を取り入れる。						
授業計画	第1回:オリエンテーション、授業紹介、授業の受け方について 第2回: 幼児の視座に立った造形教育、今日の幼児造形、造形教育の歴史 第3回: 幼児造形表現の理解、幼児造形表現の発達と様式 第4回: 幼児画の特徴(様式)、構図と描法 第5回: 描画材料と素材、演習①②③ 第6回: 幼児造形教育の目標と内容(幼稚園教育の目標と内容) 第7回: 幼児造形教育の目標と内容(保育所保育指針の目標と内容) 第8回: 幼児造形教育の目標と内容(幼児造形表現の領域) 第9回: 幼児造形表現の目標と内容(幼児造形表現の領域) 第10回: 幼児造形教育の方法(幼児造形教育の構え) 第11回: 幼児造形教育の方法(指導方法、指導の意味、保育展開、援助の仕方) 第12回: 幼児造形教育の方法(保育案の書き方) 第13回: 幼児造形教育の方法(造形遊びの意味、ねらいと内容、教師の役割、遊びの評価) 第14回: 幼児造形教育の方法(幼児画の意義、指導上の留意点、描く活動の指導と方法) 第15回: 幼児造形教育の方法(子どもとつくる活動、指導上の留意点、指導の方法と指導事例) レポート課題の解説とまとめ						
授業の到達目標	・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に基づいて、幼児造形表現の目標と内容を理解する。 ・幼児の造形表現の特徴について具体的な作品を通して理解する。 ・幼児画と児童画と大人の絵画の違いを認識する。 ・幼児造形教育の方法の中で援助と指導の在り方を深く理解する。						
授業時間外の学修	保育内容指導法(造形表現)と3年次教科教育法(図画工作)は連動している。次週の予告に合わせてテキストを読んでおくこと。テキストの進行は1講義で、4ページ?8ページの範囲である。授業では実技実習を伴うが、基本形のデッサンは自宅でも学習を続ける。講義時間内の実習時間は限られているので、図工教育の理解を深めるためにも復習は怠りなく続ける。描いた素描作品は各々にファイルしておき、作品は期末レポートと共に期限日までに提出すること。						
課題に対する フィードバック	テキストに沿って進める授業で、学んだことを要約整理するレポートの評価。実習で学んだ描画の理解度の評価を対象とする。実技作品は制作時(口頭で評価と指導をする)及び提出後、評価は記号で表記し返却する。			評価方法	・実技課題への積極的取り組み、提出課題の評価及びレポート等、提出物の採点による方法でその割合は、授業中の参加態度(質問や発問を含む制作意欲):40%、提出課題:30%、レポート:30%とする。		
テキスト	・花篤 實・岡田 吾編著『新造形表現』理論・実践編 三晃書房						
参考書	・テキスト以外で、授業に関わる参考資料は、抜粋要約してプリントを配付する。・『幼稚園教育要領』:文部科学省及び、『保育所保育指針』:厚生労働省=平成20年・平田智久・小野 和編著『乳幼児の造形表現』保育出版社						
備考	※受講生は、実技演習が出来る服装が望ましい。(準備内容については、事前に予告をする。)						